

ポジティブ母さん

鈴木 和見

私は、母を毎日見ていて、よくびつくりするような事を言います。

ある日、弟がお茶をゆかいっぱいにこぼしてしまいました。私はそれを見て「あーあ。」と言って弟をしかつてしまいました。

「こんなことがないとゆかのふきそうじなんてしないしねー。」と言い、笑いながらゆかをふいている母。

去年の運動会、私は熱を出して出場することができませんでした。「もお、最悪。」と言う私に「ゆつくり体を休められる日よ。」と母。「雨でたいくつ。」という私。「家で集中して勉強ができるね。」という母。お茶わんがわれてしまった時は「そうじきですみずみまでそうじができたー。」と。

私はそんな母が不思議でした。いつも悪い事が起つたら、良いように物事をとらえる母。まだ赤ちゃんの妹が朝早く起きてしまった時は「早起きは三文の得。」と言いながら朝早くからそうじやせんたくをし「気持ちいいね。」と言う。

テストの点が悪い時は「これだけ取れたんだからできなかつた所を勉強すれば百点だよ。」という母。

母はすごいと思いました。

「どうしてそんなに笑顔でいられるの。」と聞くと母は「何で悪いと思うの。毎日楽しく笑顔でいると周りの人も気持ちいいでしょ。考え方ひとつで一日楽しく過ごせるんだから。」と言いました。

私には母のように何でもポジティブに考える事ができません。でも何度も私は母のポジティブさに助けられた気がします。

ある時、学校で友達と意見のちがいでケンカをしてしまった事があります。帰って、きつと母に怒られるだろうと思ひ、おそろおそろ話しました。すると母は

「ちゃんとケンカができてよかったね。」と言いました。びつくりして「どうして？」と聞くと私に母はこう言いました。「自分の考えや意見がしつかりあったから相手にきちんと伝えることができたんではよ。そうじゃなかったらぶつかる事もなかったし相手の考えもわからないままでしょ。相手の事をわかつたんだから一石二鳥だね。」と。

今まで自分の意見をあまり相手に伝えることができなかった私。この日以来、自分の考えを相手にしつかり伝える努力をするようになりました。

何でも、びつくりするような言葉に変えてしまう母の『まほうの言葉』。

私は、そんな母の言葉に「ありがとう」と伝えたいです。